

その外在位入及の事、太平記評判ふくハ
無きれを畧を按ずるに在位及ハ大権小権
一て畠山の手に属一在京勅書の以河内
の守護代は神をくれ一と見一より畠山亡
て後大権も亡一にや小寺氏庄内お預り
在位右弼無きえといふ人古河田の地を今の
地地は按一よりといふ説を記を在位家と
お續一一人もて大権一任をくれり
や

一後叡寺福荷社

後叡寺ハ地名よりして大井村^{豊平}の枝分
宝暦八年神階をヤ^しよりとて家ハ正一
位福荷大明神より過少細^連云^老子^老を^老神^老筆^老之
とあり吉田成執奏一あふ事とは^老傳^老
を去る年^老從^老公義社神階^老神^老の^老刻^老尚
社の神位ハ^老を^老一^老陰^老一^老より^老事を^老考
るハ^老勅^老許^老の^老節^老と^老一^老を^老令^老根^老の^老而^老爲^老ふ
て該社よけれ多くあり歎く事

一吉崎館

同組小幡部村に館あり吉崎ハ館と名